

日本全国みんなでつくるサンゴマッププロジェクト



2年間の成果とこれから



【日本全国みんなでつくるサンゴマップ実行委員会2009】

○浪崎直子・山野博哉・鈴木倫太郎(国立環境研究所), 大堀健司(エコツアーふくみみ), 翁長均(ネイチャーワークス)・岸本多美子(月刊ダイバー), 佐川鉄平・町田佳子・安村茂樹(WWFジャパン), 佐藤崇範(環境省国際サンゴ礁研究・モニタリングセンター), 嶋谷隆(マリンダイビング), 土川仁・宮本育昌(コーラル・ネットワーク), 春川京子(セブンスーズ宮古島), 平手康市(沖縄県企画部水産海洋研究センター)・古瀬浩史(自然教育研究センター), 鋒山謙一(ルーツ&シューズおきなわ), 山中康司(NPO法人日本安全潜水教育協会)

サンゴマッププロジェクトって?

日本全国のダイバーやスノーケリングを楽しんでいるみなさんを中心に、全国各地で観察した「造礁サンゴの分布状況(目撃情報)」について情報提供していただき、その情報を元に日本全国のサンゴの最新の分布状況を明らかにするプロジェクトです。

なぜ、今サンゴマッププロジェクトをおこなうのか?

最近、白化現象やオヒトデの大発生などで、世界的にサンゴ礁が衰退していることが報告されています。しかし、日本のサンゴ分布は、1990～1992年に環境省が明らかにしたものが最新で、すでに10年以上も昔のものになっています。このプロジェクトは、本州・九州や西国の海も含めて、日本全国の最新のサンゴ分布をみなさんと一緒に明らかにする初めての試みなのです。

サンゴマッププロジェクトのデータは 何に活かされるの?

① 日本全国のサンゴ分布の最新情報を提供します。



② 過去の分布と比較して、どこで大きな変化が起こったかを明らかにでき、その原因を特定することができます。

③ そして、どこでサンゴ礁を重点的に保護すればよいかを考える、貴重な基礎資料となります。

日本全国 みんなでつくる サンゴマップ 参加者募集

全国のダイバーのみなさん! スノーケリングを楽しんでいるみなさん!
みんなの力を合わせて日本全国のサンゴマップを作成しましょう。



サンゴマップ2つの参加方法

誰でもできる! 「サンゴがあったよ!」なかつたよ!」
コース
1. 対象サンゴは? 観察したサンゴの種類を写真やスケッチで記録し、観察日時・場所・水深・観察方法を記入する。
2. サンゴが見つけた人は写真撮影
3. 観察方法を記録
4. 観察情報の記録
5. 観察情報の投稿
できる人にお誘い! 「しっかり観察記録」コース
1. 観察方法を記録
2. 観察方法を記録
3. 写真撮影
4. 観察情報の記録
5. 観察情報の投稿

詳しくは、サンゴマップホームページをチェック!
<http://www.sangomap.jp> (情報提供期間) 2009年10月31日まで

2009年サンゴマップ関連イベントの開催

開催日	イベント名	開催場所
3月13日	海辺の環境教育フォーラム2009	石垣島
4月8日	帰ってきた東京サンゴカフェ	東京
5月1日～30日	Nature info Plaza 丸の内さえざり館展示	東京
5月4日	そぞろ倶楽部「星座絵を描こう」	埼玉県
5月5日	星砂をみつけて、星砂星座絵を描こう	東京
5月14日～	環境省子どもパークレンジャー事業 石垣市立野底小学校・竹富町立小浜小中学校 丸の内サンゴカフェI / II	石垣島
5月15日～	チーム美らサンゴ植え付けイベント	東京
5月17日	情報提供者とのワークショップ in 名護	沖縄名護
5月18日	情報提供者とのワークショップ in 名護	沖縄名護
8月11日	なかのZEROこども科学教室夏休みコース	東京
9月20日	琉球フェスティバル Save the coralブース出展	東京
10月21日	PADIサンゴマップスペシャルティ講習会	静岡県伊豆
10月25日	生涯学習イベント自然科学シリーズ 「星砂から見るサンゴ礁の世界」	東京



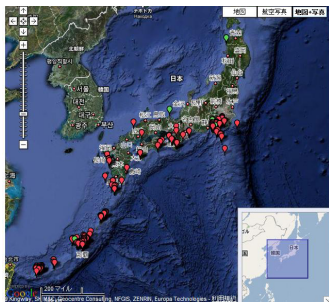
2008年～2009年に集まったサンゴ目撃情報

2008年度

(2008年7月1日～12月9日)

データ登録数: 213件
情報提供者数: 99名
ウェブサイトアクセス: 1万266件

沖縄98件、高緯度からも68件!

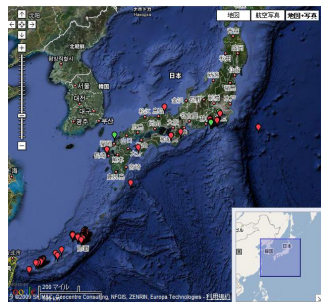


2009年度

(2008年12月9日～2009年10月14日)

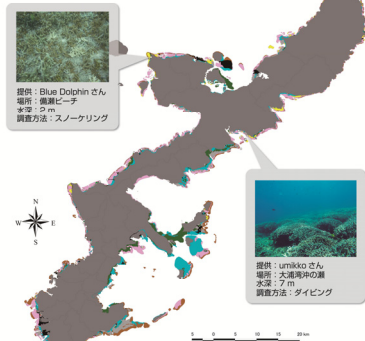
データ登録数: 84件
情報提供者数: 35名
ウェブサイトアクセス: 1万4151件

沖縄70件、高緯度情報少なかった



サンゴマッププロジェクトで情報をいただいた地点

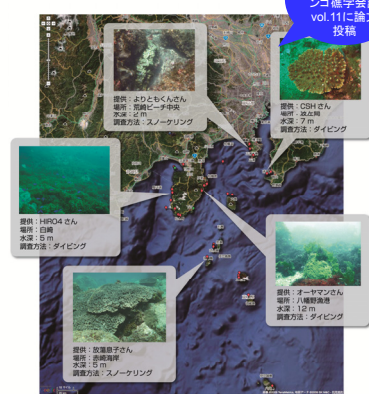
沖縄本島



オヒトデの大発生や白化で、サンゴの回復が遅れています。
最近、大滞湾で大規模なサンゴ群集が見つかりました。

サンゴマッププロジェクトで情報をいただいた地点

関東周辺



本州にもサンゴがたくさんいることが改めてわかります。
関東周辺は、サンゴの分布北限域にあたります。地球温暖化による水温上昇で、サンゴが増え、分布域が北上する可能性があります。今後の継続的なモニタリングが必要です。

2年目の2009年には多方面に発展

地域密着

恩納村サンゴマップ
with チーム美らサンゴ新設



ダイビングプログラム新設

PADI「サンゴマップ・
スペシャルティ・コース」新設
インストラクター講習会実施

サンゴマップ

白化・産卵・高緯度コース
新設準備中

モニタリング
データベースへの発展

情報提供者とのワークショップ
5月に東京丸の内と沖縄で実施

双方向情報交換
ネットワーク構築

2年間の成果のまとめ

- ① 研究者から教育者など様々な立場の実行委員会が集まったことで、誰もが気軽に参加できる「間口の広い普及啓発活動」から、政策提言や論文投稿などの「政策的にも学術的にも貢献度の高い活動」に繋がる一連の流れが構築された。
- ② 寄せられた情報は平成20年度に環境省が作成したサンゴ礁分布図に活用され、2009年12月にベトナムで開催されるICRI東アジア地域会合にて発表され、海洋保護区選定の基礎情報として活用される予定である。
- ③ 子どもパークレンジャー事業などの自然観察会、PADIスペシャルティなどのダイビングプログラム、チーム美らサンゴなどの移植活動など、サンゴマップは様々な活動に発展した。

課題と今後の展望

- ① 2年目の情報提供者数が1/3となり、参加者が激減
⇒ 間口の広さを活かした普及活動のさらなる発展
- ② 自分の提供した情報が具体的にどう役だったかがわかりにくい
⇒ 双方向の情報交換のためのブログの設置を検討中
⇒ モニタリング・データベースの充実化

【謝辞】2009年度の活動は、日本海洋学会「青い海助成」の支援をいただいで実施しています。